

若手会員の会 活動報告

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/welnet/>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

若手会員の会運営委員会 新委員長就任挨拶

若手会員の会運営委員会委員長 山本 元道 (広島大学)

Policy Speech of the New Chairman of the WELNET Steering Committee

平成 20~21 年度の若手会員の会運営委員会委員長に就任することになりました広島大学 (中国支部) の山本です。これまでも運営委員として本会に参加させていただいておりましたが、本年度から委員長の大役を仰せつかり、気持ちを新たに本会活動の発展に貢献できるよう努力させていただく所存です。皆様のご協力・ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

本会は、歴代委員長をはじめ諸先輩方のご尽力により、若手会員組織の形成、若手会員のための各種行事・国際交流活動の立案・実行・継続など、多くの成果を上げております。ようやく軌道に乗ったこれらの行事・交流は、さらに発展させつつ、マンネリ化・義務化しないように、また新しいメンバーを加えながら大切に育てていきたいと思っております。以下に、現在、本会が実施している主な行事に関して、今後の抱負を述べさせていただきます。

「秋季全国大会でのポスターセッション」では、一人でも多くの学生員の皆さんに参加していただきたいと思っています。学会の場を活用した同年代の他大学の学生や企業・大学の若手技術者・研究者との交流を通じて、知識・情報だけでなく人的ネットワークも気やかな雰囲気の中で楽しみながら獲得していただけるよう継続・発展させたいと思っております。また、前委員長の提案で、優れたパネリストに「ポスター発表賞」を授与しています。学生員の皆さん！是非ご参加ください！！

「春季全国大会でのイブニングフォーラム」では、全国大会に参加された若手会員の皆様に“ちょっと聞いてみようかな”と関心を持っていただける項目をピック

アップし、これまでとは少し趣の異なる内容を企画・実行したいと思っております。“こんな話を聞いてみたい”“こんな技術の特集を実施して欲しい”などなど、若手会員の皆様のご意見をお寄せください。

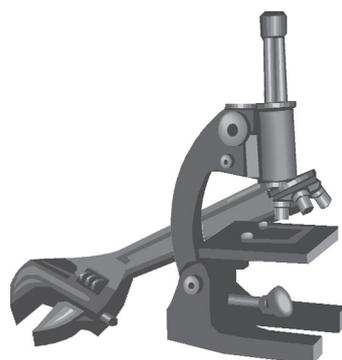
「日韓若手シンポジウム」では、一般の国際会議ではなかなか得ることのできない密接な日韓の二国間交流をさらに発展させつつ、参加した若手技術者・研究者個々のより発展的な研究・技術交流が多く実現するよう、有意義な場を提供していきたいと思っております。今後、韓国だけでなく、各国の若手技術者・研究者との“有意義で実りのある”交流を積極的に展開したいと思っております。特に、韓国をはじめアジア各国に若手会員を派遣する機会があります。企業の若手技術者の皆さん！是非、ご参加ください！！

「見学会」では、一人ではなかなか見る機会の無い施設や企業の見学を、「研究会」では、一人ではなかなか開催することのできない専門的な研究集会等を、可能な範囲で実現できるようお手伝いさせていただきます。日頃から“あの施設を見ることはできないかな？”“こんな産業分野を見学することはできないかな？”“この分野の専門家の先生の話聞いてみたいけど...”などなど、個人個人が希望されている内容を是非お知らせください。以上の各種行事は、これまでの諸先輩方のご努力で、回を重ねる毎に活気を増しており、今後も、本会幹事の皆様、若手会員の皆様および諸先輩方のご協力を得て、基本的な方針を引き継いで実施していきたいと思っております。

最後に、私が本会委員長を努めさせていただき期間では、“地方支部での若手会員の発掘と若手会員組織の活性化”を目指して、“若手会員の会は地方支部に対して何ができるのか？”“若手会員の会と地方支部の賛助員企業との連携は？”など常に考えながら、新しい試みを模索し、地方支部との共生を目指したいと考えています。学会本部活動での若手会員の活性化だけでなく、各支部活動への共催・協力を通じて、地方支部での若手会員の発掘および活性化を目標に活動したいと思っております。

は、本会が実施している「基礎セミナー」と地方支部が独自に開催している「講習会、学修会、セミナー等」との融合、「見学会、研究会」の共催、「学生員の皆さんと賛助員企業との橋渡し」などを検討し、一歩ずつ実現させたいと思っております。

誠に勝手な想いを述べさせていただきましたが、若手会員の皆様をはじめ、地方支部にご所属の皆様にも、本会活動に対しまして、ご支援・ご協力賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。



読者の **Goiken-bako** (御意見箱) 受付中！ 皆様の御意見をお聞かせください。

「自由編集ページ」として若手会員の会から毎号メッセージをお送りさせていただいております。さらに内容の充実を図るために読者の皆様の御意見・御感想をお聞かせください。若手会員だけでなく幅広く御意見をいただければ幸いです。皆様からの御意見は「若手会員の会 運営委員会」で参考にさせていただきます。下記の項目について御回答の上、郵送、FAXまたは電子メールでお送りください。お送りいただいた方の中から抽選で毎号1名様に特製テレホンカードを差し上げます。

◆送付先： 溶接学会 若手会員の会「Goiken-bako」係
〒101 東京都千代田区神田佐久間町 1-11
FAX:03-3253-3059

E-mail : t-welnet@ijk.com
(Subject に "Goiken-bako" と御記入ください)

-----「Goiken-bako」記入項目-----

- (1) 氏名、フリガナ、年齢、溶接学会入会年、所属、住所（テレホンカード送付先）
- (2) 何月号についてお答えいただけますか。（ ）
- (3-1) 今月の「自由編集ページ」について次の中からお答えください。
（ ）
- (3-2) 今月の「自由編集ページ」についての御意見・御感想。
- (4-1) 今月の溶接学会誌の全ての記事の中で、興味のある記事（ページ番号でお答えください）。
- (4-2) 今月の溶接学会誌についての御意見・御感想。
- (5) 今後「自由編集ページ」や溶接学会誌で取り上げて欲しい記事。
- (6) その他、若手会員の会、溶接学会の各種活動についての御意見・御感想。